



轡の浦学園だより



No.14

2019年(令和元年)10月23日

~全体を通して~

○1年生～9年生の繋がりが見えて、轡の浦学園らしい文化祭だったと思います。

○学校での取り組み方が素晴らしいと思いました。後期課程での自由な発想を行動にうつさせてやれる学校側の柔軟な対応は、今後の成長に役立てられると思いました。

○前期課程の子ども達は、後期課程の姿から自分達で考えて実現する楽しさをすごく感じて「自分たちもあんな風になりたい! やりたい!」というあこがれの気持ちも強くなったようです。

○低学年の児童が発表を見ている間も先生が注意するのではなく、後期課程の生徒が注意していたので、子どもどうして場をつくることができている、とても良い環境になっていると思いました。



子ども達が創り上げた文化祭!

10月12日に行った第1回轡の浦学園文化祭。どの学年の発表も自分達で工夫を凝らし、協力して創り上げようと頑張ってきた子ども達と、それを信じて支え続けた先生達の姿が印象的でした。

たくさんの保護者や地域の皆様が子ども達の頑張りを温かく見守ってくださり、子ども達も精一杯の姿で発表を終えることができました。本当にありがとうございました。

保護者の皆様からたくさんのご感想をいただいております。一部ですが、紹介します。

~全体を通して~

○子どもの「学校が楽しい、大好き。」が伝わってきた文化祭でした。



○先生が1人1人のことや、みんなのやりたいことを認めて手伝ってくださるからこそ、こんな素敵な文化祭が実現できたと思います。

○わが子も数年後には、後期課程の先輩たちのような姿になるんだと想像すると胸がいっぱいになりました。

○後期課程生徒と一緒に片付けをすることで、自分たちが大きくなって、お兄さん、お姉さんようになっていくのだなと見通しを持つことにもつながるのではと感じました。

~全校合唱~

○感動したのは全校合唱です。みんなが舞台に並んだ姿は圧巻で、歌声のハーモニーに感動して涙が出ました。もう一度見たいくらいでした。

○1年生～9年生の合唱は、小さい子の高い声から後期男子生徒の低い声が一つになって「轡の浦学園らしさ」がとてもすてきでした。

○全校合唱は、後期課程生徒も一緒だったので迫力があり、7歳～15歳のいろいろな声を合わせていて深みがあって良かったです。



~学年発表~

○自分たちで出したアイデアを取り入れているからこそ、自信を持って生き生きと発表できたのだと感じました。(1年生保護者)

○「こう考えた」「みんなでこうした」と自分達で考えて少しずつ出来上がっていく過程を教えてくださいました。宿題は嫌いだけど、学校が大好き!!と毎日家で言っているのが、本当にその通りだということが見られた文化祭でした。(4年生保護者)

○日本遺産周知に自分たちでできることを自分たちで考えたという思いが伝わってきました。そのかたわらに地域の人の支援があることも感じていて、地域に繋がる子ども達の姿を含め、その風景が「日本遺産」なのではないかと思いました。(6年生保護者)

○通学範囲が広がったことで、小学生時代とは違う風が入って刺激となりよかったと感じました。(7年生保護者)

○9年生の劇やなでしこ太鼓の演奏は、息が合っていて日頃の絆の強さを感じました。最高学年として全体のお手本になっていたと思います。(8年生保護者)

轡の浦学園らしさがキラリ!!

たくさんのご感想、ありがとうございました。 日程や客席等についてのご意見をもとに改善を加えながらよりよいものにしていきます!